



富士山お山開きウォーク

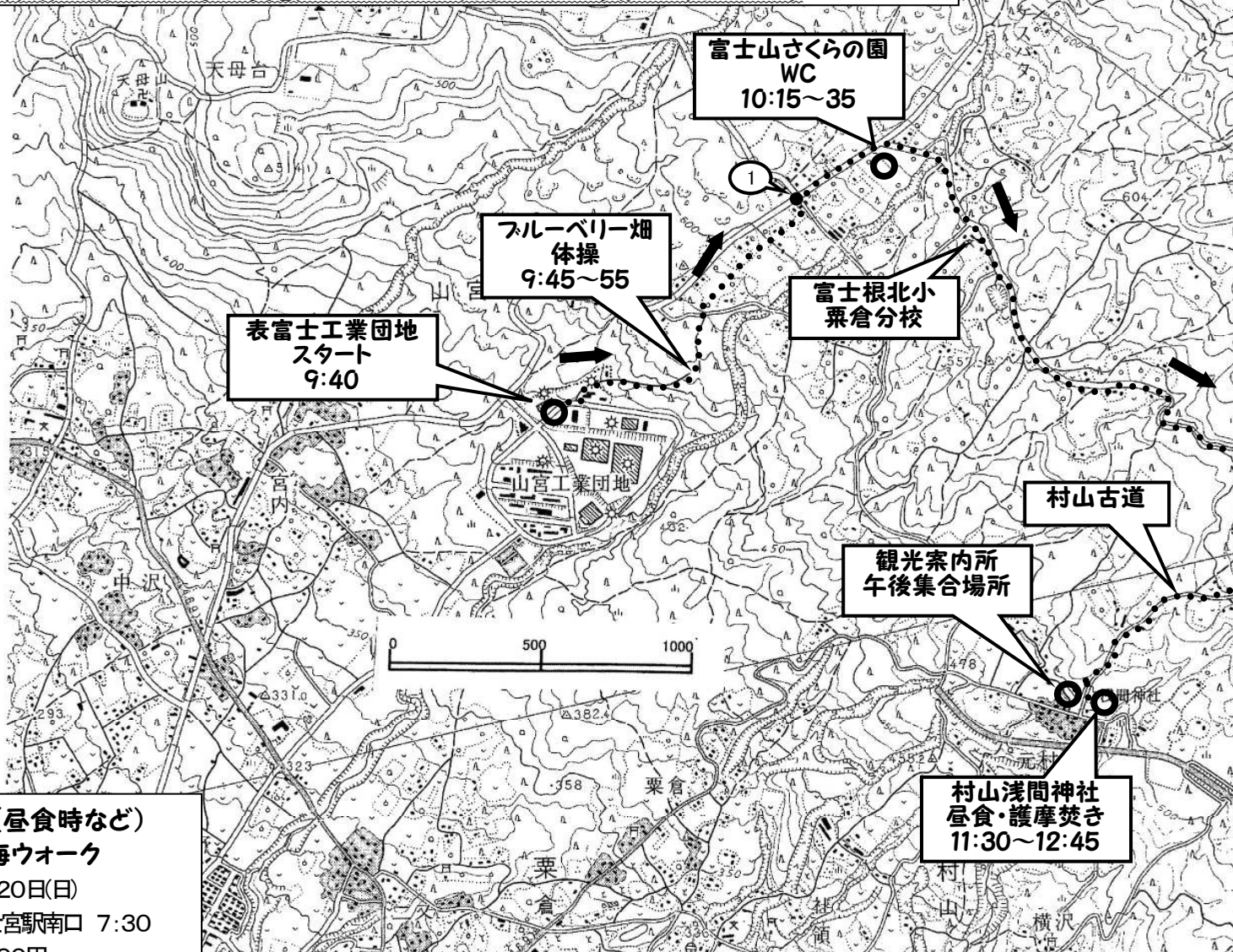
2014.07.10 10km ゆったり6km

コース紹介

富士宮浅間大社で富士山開山祭(安全祈願祭)に出席した後、バスで表富士工業団地に移動してウォークスタートです。昨年、富士宮歩こう会も協力して整備した山道を歩き、ブルーベリー畑の横の空き地で体操を行い、20分程で「富士山さくらの園」に到着し、トイレ休憩です。春には沢山の種類の桜が見られる公園です。此処からは山間の道を栗倉分校を右手に見ながら1時間ほどで村山古道に突き当たります。一部石畳も残る村山古道を往時を偲びながら歩き、村山浅間神社に到着です。古式ゆかしい護摩焚きを見学しながら昼食です。

午後はバスで富士山新五合目に移動し遊歩道を歩きます。新六合目まで砂礫地の緩やかな登りです。歩幅を狭く、ゆっくり歩きましょう。フジハタザオ、オンタデ、メイゲツ草等を見ながら緩やかに下り、宝永噴火口で休憩します。宝永4年(1707年)の噴火から300年余経ちますが自然の厳しさを実感できるでしょう。火口脇を少し下り、ダケカンバの林を抜けて新五合目に戻ります。 ゆったりコースの皆さんは新五合目周辺を散策し、普通コースのメンバーの戻りを待ちます。

* 富士山入山料(保全協力金)は参加費を充当しますので皆さんの追加負担はありません。



次回申込 (昼食時など) 青木ヶ原樹海ウォーク

☆期 日 7月20日(日)
☆集 合 富士宮駅南口 7:30
☆参加費 3000円
☆〆切 7月15日(火)

参加者の皆様へ

- ・ 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・ スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・ 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・ 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・ 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

注意事項

- ・ 山の天候は変わりやすいので、必ず雨具を持参してください。日焼け対策も忘れずに
- ・ 富士山は砂礫の山です。細かな砂が靴に入りやすいので、足首まで覆うスパッツをはくなどして防いでください。

緊急時連絡

三井 公博 090-8867-7412
三田村和夫 090-9124-8844

「護摩焚き」ってなに?

護摩(ごま)とは、「焚く」「焼く」を意味するサンスクリットのホーマ(homa)を音訳して書き写した語である。仏教には釈尊入滅から約500年後に発生した大乘仏教の成立の過程でバラモン教から取り入れられた、と考えられている。そのため、護摩は密教(大乘仏教の一派)にのみ存在する修法であり、釈尊の直説に近いとされる上座部仏教には存在しない。おもに天台宗、真言宗で行われる。護摩の炉に細長く切った薪木を入れて燃やし、炉中に種々の供物を投げ入れ(護摩焚き)、火の神が煙とともに供物を天上に運び、天の恩寵にあずかろうとする素朴な信仰から生まれたものである。火の中を清浄の場として仏を観想する。

「誤魔化(ごまか)す」とは不利益を被らないように取り繕うという意味で、「護摩」が語源という説がある。「ごまかす」の「護摩の灰」の「ごま」に「だまかす」あるいは「まぎらかす」の「かす」がついたものとする説である。「護摩の灰」とは旅人の道連れに金品を盗み取る者をいい、江戸時代にただの灰を高野聖の装束を身に付けて空海(弘法大師)の護摩の灰と称して偽物を売り歩く者がいたことに由来する。なお、他説として「ごまかす」は「胡麻菓子」の動詞化であるとする説もある。

コース

往路(バス)	富士宮駅南口	＝浅間大社(安全祈願祭・WC)	＝表富士工業団地						
	8:50		9:00～30		9:40～50				
ウォーク	表富士工業団地	・・・富士山さくらの園(WC)	・・・村山浅間神社(護摩焚き見学・昼食)						
	9:50		10:15～35		11:30～12:45				
		＝バス＝	富士宮口新五合目(WC)	・・・新六合目	・・・宝永火口	・・・遊歩道	・・・新五合目		
			13:45～14:10		14:35	14:55	15:05	16:00～10	
復路(バス)	富士宮口新五合目	・・・富士宮駅南口							
	16:20		17:30						